

白井市神々廻地先

千葉NT北環状線と白井市道交差

見通し悪く渋滞日常化

丁字交差点を改良

白井市議会から県議会へ活動の場を移した秋本享志県議（白井市選出、1期）は、経験に裏打ちされた沈着冷静な政治スタイルで各方面から信頼を集めています。2月定例県議会で初の一般質問に臨んだ秋本県議は、白井市が抱える道路問題や白井市民の安全・安心を守る印西警察署白井分庁舎、デビューを控える梨の新品種について質問し、今後の施策を森田知事や担当部長、県警本部長から聞きました。秋本県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

2月定例県議会一般質問

秋本議員 白井市は千葉ニュータウンの玄関口として、人口が飛躍的に増加し、現在人口6万2千を数える市へと成長した。今後の市域の更なる発展、地域防災力の向上を図っていくうえでも重要な道路ネットワークの県道千葉ニュータウン北環状線は、千葉ニュータウンの西白井駅、白井駅、小室駅及び千葉ニュータウン中央駅の北側周辺地域との連携、地域の一体性強化を図る道路として、現在の都市再生機構が事業主体となって整備を進め、



2月定例県議会で登壇し、一般質問を行う秋本享志県議

秋本議員 木下街道と呼ばれる県道市川印西線が、国道16号と交差する白井交差点は片側1車線で右折レーンが無いことから、渋滞が発生している。そこだろうか、県道市川印西線白井交差点の渋滞対策に対して、どう取り

木下街道の白井交差点
右折レーン設置を検討

秋本議員 交差点改良工事にあわせた信号機の設置状況はどうか。警察本部長 ご指摘の白井市神々廻地先の交差点につきましては、道路管理者による交差点改良工事に併せて信号機を設置することとしており、道路管理者と連携しながら、供用開始に合わせて信号機の運用ができるよう手続きを進めてまいります。

現在、白井市の一部を除き、整備が完了している。白井市神々廻地先では、県道ニュータウン北環状線の未開通区間を迂回するように県道と白井市道が接続しており、この交差点から市道方向へ右折する必要がある。県道の交通が滞ることによる渋滞が日常化している。そこだろうか、県道千葉ニュータウン北環状線の白井市神々廻地先における課題をどのように認識しているのか。県土整備部長 県道千葉ニュータウン北環状線は、白井市神々廻地先において、白井市道の曲線部に突き当たる、丁字の交差形状で暫

定的に接続しております。このため、この交差点は見通しが悪く、また、利用者の多い白井市街地方面と千葉ニュータウン中心部とを結ぶ交通は、この交差点を右折または左折する必要があるなど、円滑な交通と安全な通行の面で課題があると認識しております。秋本議員 白井市神々廻地先の白井市道との交差点改良工事の進捗状況はどうか。県土整備部長 白井市神々廻地先の交差点については、現在、主たる交通が右左折する丁字の暫定的な交差形状となっているなど課題があることから、安全で円滑な交通を確保するため、主たる交通が直進となる交差形状へと改良することとし、白井市や警察との協議を行い、昨年12月、工事に着手したところです。引き続き、関係機関と連携し、今年度内の供用を目指して工事を進めてまいります。

●県政についてのご意見、ご要望をお寄せください

議 秋本みちゆき 事務所

〒270-1421 TEL.047-497-0169

白井市白井397 FAX.047-427-0090



予算案などを審議した2月定例県議会

秋本議員 白井市民が長年待望していた印西警察署警察署白井分庁舎の役割・

印西警察署白井分庁舎

平成30年5月開庁

安心・安全の暮らし実現へ

365日、24時間開庁を

白井分庁舎の開庁で、市民の利便性が図られた。

しかしながら、現在の白井分庁舎の開庁時間は、平日の午前8時30分から午後5時15分までとなっている。白井市民としては、安心・安全に暮らせる地域社会の実現に向けて、夜間帯・休日を含めた白井分庁舎の365日、24時間開庁を求めている。

そこでかがうが、印西警察署白井分庁舎の役割・

機能について、どのように考えているか。

警察本部長 白井分庁舎

については、印西警察署において、近年、白井市の人口増加等が著しいことに伴う諸情勢の変化に対応する必要があったところ、白井市から新庁舎を整備するに当たり庁舎の一部を警察施設として提供することについて申し出をいただき、市の庁舎内に警察の分庁舎を設置することとなったものであり、平成30年5月に運用を開始したところであり

ます。

同分庁舎については、警察署の機能の一部を担うも

のであり、白井地域における治安維持や市民の利便性の向上に一定の役割を果た

しているものと考えております。

具体的には、白井分庁舎では、運転免許関係事務や道路使用許可等交通関係の窓口業務を行っており、白井市への転入手続を終えた方が同じ庁舎内で運転免許証の住所変更手続も行うことができるなど、市民の利便性の向上が図られております。

また、同分庁舎において、事件・事故や遺失物・拾得物の届出、各種相談を受理するほか、パトカーや移動交番車運用の拠点とすることなどによ



議場の自席で県の施策に要望を行う秋本県議

22年ぶり梨の新品種開発

県農林総合研究センター

令和3年度にデビュー

秋本議員 今年度、県の

農林総合研究センターが約22年ぶりに開発した新品種「千葉K3号」が令和3年度にデビューを目指していると聞いている。千葉県オリジナルの新品種には、生産

者消費者から大きな期待が寄せられている。

そこでかがうが、新品種の梨「千葉K3号」について、特徴はどのようなものか。

知事 「千葉K3号」は、

9月中下旬から収穫できる

晩生品種であり、収穫時期の重なる「新高」に比べ、高温による果実の劣化が少なく、毎年安定した収量が見込めるほか、剪定が必要となる余分な枝の発生が少

ないため、生産者の管理作業の軽減が期待できる品種です。

また、果実の重さは700グラムを超え、他の品種と比べると大きく、果肉は柔らかく滑らかで果汁が多く、食味は甘みが強く酸味が少ないのが特徴です。

さらに、常温で一か月の保存が可能であり、貯蔵性に優れた品種です。

要望 秋本議員 千葉は梨の日本一の産地なので日本一らしい命名をお願いする。

り、警察と白井市との連携強化や地域の安全・安心の

向上にも寄与しているものと考えております。

業務内容や機能を引き続いて検討

秋本議員 印西警察署白

井分庁舎の今後の更なる機能強化について、どのように考えているのか。また、365日、24時間体制にする考えはあるのか。

警察本部長 白井分庁舎については、運転免許に係る更新講習をできることとするなど、機能の強化を図ったところであります。

同分庁舎を365日、24時間体制とし、その機能を強化することを実現するためには、交替要員や施設の管理、セキュリティの確保等を考えると、相当の人員

の配置が必要であります。

警察官の配置については、県下全域における警察力の維持・強化の観点から、事件・事故の発生状況、業務負担状況等を総合的に勘案して、毎年検討しておりますが、現時点において、大幅な人員確保は困難であるのが現状であります。

白井分庁舎で行う業務の内容やその機能、体制等については、市民のご要望等をうかがいつつ、地域の実態、治安状況の変化等をよく見ながら、引き続き検討してまいりたいと考えております。

「新高」栽培面積の1割

新品種に置き換え目標

秋本議員 「千葉K3号」の産地への導入をどのように支援していくのか。

知事 「千葉K3号」は、「新高」に代わる品種として期待されており、県では、令和7年度までに「新高」の栽培面積の約1割にあたる15ヘクタールを新品種に置き換えることを目標に取り組んでいるところです。

このため、梨の生産農家に対して、今年度は約3百

本、来年度以降は年間約1千本の苗木を配付し、民間種苗会社によるものと合わせて、計約6千本の苗木を配付することとしています。

また、植え付け後の早い段階から果実が収穫できるよう、大苗の利用を推進しているところであり、大苗の生産農家に対し、育苗施設の整備を支援することで、新品種の導入を促進してまいります。